

平成 29 年（2017 年） 2 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（ 2 日 目 ）

平成 29 年 2 月 20 日（月）

割当時間（答弁を除く）	な は の 翼	
	【無所属 G】	35 分
	自 民 党	30 分
	社民・市民ネット	30 分
	無 所 属 の 会	20 分
	沖縄社会大衆党	20 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	屋 良 栄 作 (な は の 翼 【無所属 G】)	1 那覇空港について	(1) 2月6日に行われた臨時会において、「自衛隊機トラブルの原因究明と那覇空港滑走路増設事業の早期実現を求める意見書」が賛成多数で可決された。見解を伺う (2) (1)に関連し、上記の意見書の反対討論において、日本共産党より「本土復帰から 45 年、いまだに本土復帰の目玉とされた那覇空港の完全返還・民間専用化の日本政府の約束は果たされず、自衛隊との軍民共用の空港となっています。……」との指摘があった。事実関係はどうなっているのか伺う (3) 那覇空港の民間専用化について、城間市政及び翁長前市政が、政府に対して正式に要請したことがあるのか伺う
		2 琉球びんがたについて	(1) 琉球びんがた事業協同組合より以前から要請のあった「拠点づくり」はどうなっているのか伺う (2) 現在、那覇市内に事務所を構える琉球びんがた事業協同組合が他市町村に引っ越した場合、本市と琉球びんがたとの関係性や伝統的工芸品としての琉球びんがたの位置付けが変化するのかどうか伺う (3) 琉球びんがた事業協同組合が本市から引っ越す可能性について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) (3)に関連して、那覇伝統織物事業協同組合(首里織)など他の伝統的工芸品の事務所が本市から引っ越す可能性についても併せて伺う
		3 災害時支援(応援)協定について	(1) 本市は地震や津波等の大規模災害に備えて、民間企業・団体と「災害時における応援協定書」の締結を行ってきているが、ガソリン等エネルギーの供給については、どうなっているのか伺う (2) (1)に関連し、国・県・他市町村ではどうなっているのか伺う
		4 子どもの歯の健康について	昨年12月定例会にて、子どもの歯の健康と貧困との関連性など市独自に調査すべきと要望したが、どうなったか伺う
		5 物語性のあるランドマーク創造事業について	(1) 具体的にどのように進めていくのか伺う (2) 龍柱の位置付けや商品開発はどうなるのか伺う
		6 生活保護負担金返還問題について	(1) 経緯と理由について伺う (2) 今後の再発防止について伺う (3) 責任について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 29 年 2 月 20 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	瀬 長 清 (な は の 翼 【無所属G】)	1 待機児童対策について	那覇市の課題の「1丁目1番地」である待機児童対策について、国は、待機児童解消加速化プランにより、沖縄県は、「黄金っ子応援プラン」により、平成29年度末の待機解消を目指し取り組みが行われているが、那覇市の待機解消の取り組みについて、当局の所見を求める (1) 4月時点の待機児童数は、平成28年度は、平成27年度と比較すると逆に増えている。那覇市は、この現状をどのように認識しているのか伺う (2) 国や県の計画では、平成29年度末に待機児童を解消するとしているが、那覇市では、待機児童の解消について、どのような見通しを持っているのか伺う (3) 平成29年度は待機児童の解消に向けどのように取り組むのか伺う
		2 放課後児童クラブについて	平成 28 年の放課後児童クラブを利用出来ない待機児童は、1 万 7,203 人と、過去最多となり、沖縄県の待機児童も 661 人で、全国 7 位の高い数字となっている 国や県は、計画により、平成 30 年末の待機児童の解消に取り組んでいる 那覇市の放課後児童クラブの取り組みについて、以下、当局の所見を伺う (1) 過去 3 年間の那覇市の放課後児童クラブの数と、そのうちの公的施設利用の児童クラブの数、割合についてはどうなっているか (2) 過去 3 年間の那覇市の放課後児童クラブの待機児童の状況は、どうなっていますか (3) 平成 29 年度、「沖縄県放課後児童クラブ支援事業」の活用予定はあるか、伺う (4) 那覇市の放課後児童クラブの待機児童解消について、国や県と同じく平成 30 年末までに達成する事は可能か。その見通しについて伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 複合施設建設について	旧那覇飛行場用地問題の解決について、旧大嶺旧那覇飛行場用地解決地主会 仮称「ともかぜ振興会館」と「那覇市保健センター」複合施設事業の進捗状況について、当局の所見を求める (1) 事業の内容について伺う (2) 今後の事業スケジュールについて伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成29年2月20日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	坂 井 浩 二 (な は の 翼 【無所属G】)	1 那覇軍港の返還について 2 少子高齢化について 3 教育行政について	先日行われた浦添市長選挙の結果、現職の松本哲治氏が再選を果たした このことを踏まえて、先日行われた那覇港管理組合議会において管理者でもある翁長雄志知事が「調整を進め、早期に計画に着手したい」との発言・答弁があった (1) 翁長知事(管理者)の発言に対する城間市長の見解を伺う (2) この発言を踏まえて城間市長はどのようなアクションを行うのか 少子高齢化社会について本市の現状及び課題について伺う (1) 本市内における乳幼児・児童・生徒(0歳～15歳)の過去5年間の人口推移を伺う (2) 少子化の現状を踏まえた年少人口の将来予測を伺う (3) 本市における、65歳以上の高齢者人口の過去5年間の推移を伺う (4) 高齢化社会に伴う認知症の増加について本市の取り組み状況を伺う 本市における教育行政の現状及び今後の方向性について以下伺う (1) 平成29年度新年度予算のうち、教育関連予算について伺う ① 平成29年度新年度を含めた、過去5年間の年度別総額と、総予算に対する推移を伺う ② 新年度において、これまでにない特色ある教育関連事業を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 2月14日、文部科学省は小中学校の次期学習指導要領の改定案を公表した ① 公表された改定案の中身について本市は総合的にどう評価しているか見解を伺う ② 小学校高学年での英語必修化について本市の見解を伺う ③ 授業時数の増加についてどのような対応策が考えられるか (3) 「ゆとり教育」後の本市の学校教育の状況について伺う (4) 「いじめ」の定義について本市の見解を伺う
		4 保育行政について	本市における保育行政について以下伺う (1) 古島及び首里大名地区における住民と対立している新規保育園設置問題の現状はどのようなになっているか (2) 「保育の質」について本市の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問(2日目) 平成29年2月20日(月)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	花城正樹 (なはの翼 【無所属G】)	那覇市全体の 景観について	近年、沖縄は多くの観光客でにぎわい、入城観光客が増加している中、タワーマンションや高層ホテルの建設も増えている 本市では景観形成地域を定めており、歴史性や地域色豊かな都市景観の形成が推進されている。今後、とりわけ首里城をはじめ那覇市全体の歴史や文化、史跡等、次世代へ継承すべき風景を保全する必要があると考える。城間市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 29 年 2 月 20 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	奥 間 亮 (自 民 党)	1 待機児童解消と保育行政について 2 教育行政について 3 離島との連携について 4 新市民会館（新文化芸術発信拠点施設）について	(1) 待機児童解消に向けた今後の計画と目標について (2) 認可保育所と認可外保育施設それぞれに対する支援についての現状と今後について (3) 保育士の待遇向上に向けた取り組みについて (4) 大名原保育園(仮称)新設を巡る課題と今後について (1) 本市における「全国学力・学習状況調査」、いわゆる全国学力テストの中学生の結果を踏まえた、中学生の学力向上と、今後の取り組みについて (2) 中学生の放課後の過ごし方について、本市はどのように考え、どのような取り組みを行っているか (3) 本市の高校生の高校中退率、高校卒業率について 県内の離島自治体と、経済観光や教育等の面でさらに連携すべきである。これまでの取り組みと現況、今後の取り組みについて伺う (1) 新市民会館が久茂地小学校跡地になった詳細な経緯 について (2) これまでの久茂地地域の皆様との話し合いの経過と内容について (3) 現市民会館の周辺地域の皆様との話し合いについて (4) 周辺整備計画の詳細と今後の計画について (5) 予算や財源の確保と考え方について (6) 新市民会館の防災・災害対策について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 陸上競技振興と陸上競技場について	(1) 本市のこどもたちや学生、社会人、市民の皆様が陸上競技に親しみ、楽しんでいる昨今の状況と、本市の陸上競技振興は、那覇市にとって、非常に素晴らしいことであると考え。市長の見解を問う (2) 本市において、スポーツ振興の中でも、特に陸上競技の果たす役割について (3) 那覇市内に陸上競技場がある意義について (4) 仮に陸上競技場が無くなることの、デメリットについて
		6 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会について	那覇市は 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会の関連事業やイベント、合宿や観光等をもっと積極的に誘致すべき。地域活性化推進首長連合に加入し、さらに取り組みを進めるべきではないか
		7 健康行政について	健康行政をさらに推進し、「健幸都市宣言」を行い「日本健幸都市連合」に加入すべきである。見解を問う
		8 総合計画と市制施行 100 周年について	(1) 第 5 次総合計画の中で、特に改善すべき点特に優先して推進していきたい点を問う (2) 市制施行 100 周年を、さらなる未来につなげるために全庁を挙げての、100 周年記念事業を行うべきである。どのような取り組みを行うのか、問う
		9 一括交付金について	一括交付金のこれまでの主な使い方と、今後の活用について、見解を伺う
		10 自衛隊との連携について	(1) 自衛隊と本市の連携について、現況と今後について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) エアーフェスタは市民に好評であり、市民の安心安全を守る航空自衛隊の皆様と市民が交流する素晴らしい機会だと考えるが、市長はどのように考えているか (3) 第9航空団の配置は、本員は市民の安心安全を守る意味において心強く思う。一方で離発着音等を苦に感じる市民がいることも事実である。しかし、そもそも大きな原因は中国機に対するスクランブルが急増していることであり、本員は国会議員を通じて随時抗議するよう求めている 市長は第9航空団の配置と、配置の理由についてどのように感じ、これまでどのように対応してきたのか
		11 市長の政治姿勢と施政方針について	(1) 施政方針について、特に重視している点と基地問題に対する考え方を問う (2) 浦添市長選挙の結果を受けて、浦添新基地建設を推進するのか (3) 浦添市長と、西海岸開発や新軍港建設について、直接しっかりと話し合うべきであると思うが、見解を問う
		12 那覇軍港について	(1) 本員が以前質問した那覇軍港の固定資産税問題について、現況と今後について問う (2) なぜ市街化区域になっているのか、その経緯と理由について問う
		13 返還金について	今般の約7,000万円にのぼる、生活保護行政に係る返還金の市長の責任について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 29 年 2 月 20 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	多和田 栄子 (社民・市民ネット)	1 市長の政治姿勢について 2 マイナンバー制度について	城間市長の平成29年度の施政方針が発表された。初の女性市長としての感性を組み入れた市政運営が注目された二年目であったと思う。高く評価したいと思う。その事を踏まえ、以下市長の決意を伺う (1) 翁長知事は、名護市辺野古の新基地建設阻止を直訴するため三度目の米国訪問を行った。しかし、帰国した翌日から辺野古沿岸部の埋め立て工事が再開、コンクリートブロックの投下を開始された。このことについての見解を伺う (2) 施政方針の中で民意を抛りどころにする地方自治のあり方、民主主義のあり方が根幹から問われているといっても過言ではないと示されている。何を通してそう思っているのか伺う (3) 軍事要塞化が進む辺野古と共に、宮古・八重山への自衛隊基地配備計画が進んでいる。見解を伺う マイナンバー制度の運用が昨年 1 月からスタートした 市民サービスの効率化、向上への取り組みとしてマイナンバーカードの取り組みが実施されている。しかし、市民の皆さんの不安への払拭はまだ残っていて市民に浸透していない。そこで以下伺う (1) マイナンバーカードの申請状況と通知カードの返戻状況について (2) コンビニ交付事業の利便性は何か

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 選挙行政について	1945 年（昭和 20 年）に 25 歳から 20 歳への選挙改正法以来 71 年ぶりの改正となり、18 歳から選挙権の行使ができる。そこで以下伺う （１） 18 歳からの選挙権実施により、本市の有権者はどの位増えたのか （２） 周知のための広報活動はどのようなになっているか伺う
		4 企業主導型保育事業（事業所内保育）について	2016 年 4 月、企業主導型保育事業が閣議決定され、待機児童対策としてその制度がスタートした子どもに対する保育士の人数等、一定の要件、質を満たすことを条件に認可保育所並みの助成金が受けとれる企業主導型保育事業である。このことについて以下伺う （１） 那覇市として、この事業についてどのような関わり方をしているのか、伺う （２） 実際に助成金を活用している保育園は何か所あるか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 29 年 2 月 20 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	下 地 敏 男 (社民・市民ネット)	施政方針について	市政運営の基本方針について (1) 基地問題で民意がどのように取り扱われるのかについて及び地方自治における自己決定権の尊重について (2) 貧困からの脱却にむけて こども食堂の現状について (3) 平和交流・男女共同参画について ① なぐやけの碑慰霊祭について ② 旧軍飛行場用地問題解決に向けた施設建設について ③ 那覇軍港の現状と跡地利用について (4) 自立を支援するサービス提供について ① 高齢者に対して住民等が主体となる多様なサービスの充実及び医療と介護が必要な方の在宅医療と介護サービスの提供について ② 「第 7 次なは高齢者プラン」の策定について ③ 障がい者が地域で自立できるよう、就労支援や、身体的な介護、生活訓練などの障がい福祉サービスについて (5) 文化の継承と発展について 新文化芸術発信拠点施設の建設に向けた実施計画業務等の進捗状況について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(6) 産業の振興について 新商品開発への資金やフォローアップ等の支援について (7) まちの活性化支援について 中心商店街の老朽化したアーケードにかかるビジョン策定について (8) 都市防災と防犯について ① あらゆる災害状況に迅速かつ効率的に対応できる消防救急の情報系及び指令系システム機能向上について ② 企業など各種団体との防災協定及び災害時の幅広い協力体制について 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 29 年 2 月 20 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	中 村 圭 介 (無所属の会)	1 協働によるまちづくりについて 2 公設市場の許可更新について 3 本市ホームページについて	(1) 校区まちづくり協議会の目的と目指す将来像について問う。また将来的に協議会の設立が進まない地域への支援はどのように考えているのか問う (2) 市長施政方針に示された「校区まちづくり協議会カルテ」の目的と目指す効果を問う (1) 第一牧志公設市場の許可更新の際に必要とされている連帯保証人の年齢上限が 60 歳である理由と、いつからそうなっているのかを問う (2) 60 歳を超えても働く方が増えている現状に合わせて上限年齢の引き上げが必要であると考えるが当局の見解を問う (1) 本市ホームページを刷新できるタイミングはいつなのか問う (2) 各課のホームページ担当者が顔を合わせて課題を共有する場があるのか。また年に何回開かれるのか問う (3) ホームページの更新が適切に行われているかをどのように確認しているのか問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 29 年 2 月 20 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	前 泊 美 紀 (無所属の会)	1 市長の政治姿勢と協働によるまちづくりについて 2 第 5 次那覇市総合計画について 3 新市民会館建設について	(1) 平成 29 年度施政方針において、城間市長は、「縦と横の糸を織りなして」として、協働によるまちづくりへの思いを綴っている。常々「ひと つなぐ まち」をキーワードに市政運営を進める城間市長の、「協働によるまちづくり」の考え方を問う (2) なは市民協働プラザは、市民協働の拠点となる施設である。そのためには、入居する市民活動支援センター、産業支援センター、女性センターの連携が重要であるが、現状と見解をそれぞれに問う (3) なは市民活動支援センターの運営について、今後の方針と N P O 支援について問う 2 月 11 日にはなは市民協働大学院成果発表会が開かれ、第 5 次那覇市総合計画の市民提案がなされた その内容と、第 5 次那覇市総合計画への市民意見の反映について問う 平成 29 年度那覇市一般会計当初予算案には、新文化芸術発信拠点施設整備事業として、実施設計等の予算 8 億 5,614 万 8 千円が計上されている この段階になっても未だ市民から「新市民会館建設は久茂地小学校跡地でよいのか」疑問の声が寄せられている (1) 新市民会館建設を現在の場所とした意義を改めて問う (2) 新市民会館建設予定地は、那覇市の都市計画図によると「第 1 種住居地域」で「文教地区」として指定されている。このままでは市民会館は建設できないはずだが、対応を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 29 年 2 月 20 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	平 良 識 子 (沖縄社会大衆党)	1 市長の政治 姿勢について	(1) 那覇空港の民間専用化について、市長の見解を伺う (2) 陸上自衛隊那覇基地の後利用について、県アジア経済戦略構想推進計画も踏まえ市として今後の対応を伺う (3) 米軍普天間飛行場の移設に伴う辺野古新基地建設計画について、政府は沖縄の民意を無視して、大規模な埋め立てに向けた海上工事を強行した。市長の見解を伺う (4) 辺野古新基地建設反対運動のリーダーである平和運動センターの山城博治議長が拘留されて約 4 カ月も続いている。県内外、国外からも早期解放を求める声が広がっているが、山城氏への不当な長期拘留について、市長の見解を伺う
		2 那覇市財政 と経済自立に 向けて	(1) 平成 29 年度一般会計予算において、市税収入が復帰後最高額の 47,873,458 千円となり、構成比 33.4%となった。一方で地方交付税が 9,225,230 千円、構成比 6.4%と対前年度増減率については 25.5%も下がった。その評価と今後について伺う (2) 沖縄県内で国税として徴収される額はどのようなになっているか (3) 地方交付税の不交付団体が全国で増加しており、平成 28 年度は 77 団体もある。那覇市は沖縄の自立経済を実現するうえでもまずは不交付団体を目指すことが肝要である。達成予測について伺う
		3 男女平等社会 の実現に向 けて	結婚後も旧姓を使用し続ける「通称使用」について、那覇市の対応、利用人数、見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 29 年 2 月 20 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
11	上 原 快 佐 (沖縄社会大衆党)	1 平成 29 年度 予算について 2 本市の人口 及び都市計画 における中長 期ビジョンに ついて	(1) 放課後児童クラブ利用料軽減事業について 伺う (2) 地域包括支援センター増設準備事業につ いて伺う (3) 介護予防サービス等諸費について伺う (4) 新商品開発支援事業について伺う (1) 本市人口ビジョンにおける概要と課題につ いて伺う (2) 中心市街地・モノレール沿線・新都心地区 の土地の高度利用について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長